（様式1）

学校番号	6	学校名	茨 城 県 立 多 賀 高 等 学 校	全日・定時

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 教育諸法規
- 学習指導要領

校訓

最善を尽くして颯爽たれ

学校の教育目標

（1）校訓「最善を尽くして颯爽たれ」及び校是「師弟同行・文武不岐」の精神に則り、「知・徳・体」の調和のとれたたくましい「人間力」を育む学校

（2）授業を中心に、生徒一人一人の可能性の開発に努め、進路希望の着実な実現をサポートする学校

（3）特別活動を中心に、よりよい社会づくりに貢献しようとする「市民性」を培うことにより、地域や保護者から信頼される学校

生徒の実態

- 校訓の下、校是の「文武不岐」を実現すべく学業並びに部活動に熱心に取り組み、明るく元気あふれる生徒が多い。
- 本校の教職員に限らず、誰にでも自主的に挨拶する生徒が多い。
- 服装・頭髪の乱れはなく、清楚で高校生らしい容儀を維持している。

保護者の願い

- 学習活動及び特別活動を通して、「知・徳・体」の総体である「人間力」の調和的な育成を願っている。

道徳教育重点目標

- 基本的生活習慣を確立し、生活の場として学校を清潔にし、生活のリズムとなる時間を守る大切さを身に付けさせる。
- 自立の精神を高め、自主的に判断･行動できるようにさせる。
- モラルやマナーなど社会生活の規範意識を高めさせる。

地域の実態

- 本校の教育活動への関心や期待が高い。
- 地域内に本校卒業生が多く協力的である。

各教科・科目

国語	現代社会に対する関心を深め、人間存在や生き方を考える態度を養う。
地歴	歴史的認識を持ち、生き方を考え、自主的行動ができる力を養う。
公民	人間の在り方・生き方を身に付け、国家や社会の一員として自覚させる。
数学	数学的な見方や考え方を身に付け、創造性の基礎を培う。
理科	環境問題や自然保護に対する関心・知識を高め、モラルや意識の向上を図る。
保体	運動の実践を通して公正・協力・責任などの態度を養い、健康管理する力を育む。
芸術	芸術諸活動を通して、将来にわたって芸術を愛する心情と豊かな情操を培う。
外国語	多岐に及ぶ教材を通して、他者や異文化を尊重する姿勢を育む。
家庭	生活を明るく豊かにし、広く社会に目を向け、自らの生活を設計・実践できる態度を養う。
情報	モラルや情報に対する責任を考え、情報社会が果たす役割や影響を理解する。
選択	なし
専門	なし

総合的な探究の時間

「公共」（第2学年）

- 道徳教育の目指すところである、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と供によりよく生きるための基盤となる道徳性を涵養する。「公共」を通して、自分の良さや可能性を探究するとともに、多様な人々と協働しながら豊かに生きる姿勢を身につける。
- さまざまな活動を通して、基本的生活習慣の確立を図りつつ社会性を育み、成人として求められるモラルとマナーを身につける。
- 修学旅行の事前学習・旅行当日・事後学習を通して、様々な文化を知り、互いを認め合うと共に、尊重する態度を育てる。また、事前の調査や旅行を通して友人と協力する態度を育てる。

【第1学年】

- 保健に関する講話を通して、命の重さ・大切さを理解させると共に、日常の健康管理に気をつけさせる。
- キャリア見学会や講演会等を通して、自己の在り方・生き方を考えさせ、自分の進路を主体的に決定する態度を育てる。

【第3学年】

- 高校最終学年の時期をとらえ、成年年齢引き下げによって生じる権利と義務、責任について考えさせる。
- 健康管理の大切さへの理解を深め、日常生活へどのように活かしていくべきかを話し合いや発表を通して自ら考えさせる。

特別活動

ホームルーム活動（第2学年以降）

- 日々のSHRやLHRを通して、生徒の実態把握に基づき、効果的な助言と支援を行う。集団の一員であることへの自覚を促し、学校行事等を介して集団への帰属意識を高める。

【生徒会活動】

多様な生徒の意見を集約しつつ、学校の中核的存在としてのリーダーシップを発揮する。

【学校行事】

諸行事における集団での準備と振り返りの機会を通して協働的な問題解決力を高め、コミュニケーション能力を涵養する。また、自治的能力を高め、自ら問題解決に向かう力を養う。

生徒指導

- 基本的生活習慣の確立
- 高校生としてのモラル・マナーアップ
- 善悪の判断のできる行動（規範、意識の高揚）
- 校訓・校是の理解

家庭との連携

- 各家庭やPTA委員会との連携のもと、基本的生活習慣を確立するとともに「人間力」の育成に努める。
- PTA会報、学年通信、進路通信などで学校の教育活動の様子を伝える。

地域社会との連携

- 地域社会と連携し、安全管理体制の整備構築する。
- 地域社会などの協力のもとキャリア見学会や社会人インタビューを実施する。
- 地域の人材の協力を得て、外部講師等として教育活動全体のサポートを得て学校教育目標の達成を目指す。